

第270回教育研究評議会議事要録

1. 日 時 平成28年11月8日(火) 14:00~16:05
2. 場 所 事務局 第2会議室
3. 出席者 中井学長、中田理事・副学長、三浦理事・副学長、小沢理事・副学長、
若井理事・事務局長、真田副学長、千葉副学長
千葉人間発達文化学類長、朝賀評議員、谷評議員
久我行政政策学類長、田村評議員、鈴木評議員
阿部経済経営学類長、佐野評議員
二見共生システム理工学類長、佐藤評議員
初澤うつくしまふくしま未来支援センター長、難波環境放射能研究所長
【オブザーバー】上井監事
4. 欠席者 伊藤評議員、山口評議員

5. 議事

【審議事項】

(1) 「食農学類(仮称)」基本構想(案)について

中田理事・副学長から、資料1に基づき、「食農学類(仮称)」基本構想(案)について提案があり、前回の第269回教育研究評議会(報告事項(2)三位一体改革のロードマップについて)からの経緯について説明があった。引き続き、小山農学系教育研究組織設置準備室副室長から内容の説明があった。

質疑応答の中で、基本構想の内容自体については概ね了解が得られたものの、一方で、地域に出て活動する際の学生へのケアや教員のオーバーワークへの懸念や、既存学類への影響等に関する意見として、各学類からの教員抛出の見通し、新しい学類を設置した際の財政面への影響、既存組織改革や教育改革との進め方等について意見が出された。

意見等を受け、中田理事・副学長から、各学類からの教員抛出については引き続き検討していくこと、人件費等の予算については国や自治体などへの交渉をこれからも継続的に働きかけていくことなどの説明があった。

審議の結果、教員控室に一部資料を掲示の上、各学類教員会議へ意見聴取し、第271回教育研究評議会(11月15日開催予定)にて各学類から戻り報告をすることとした。